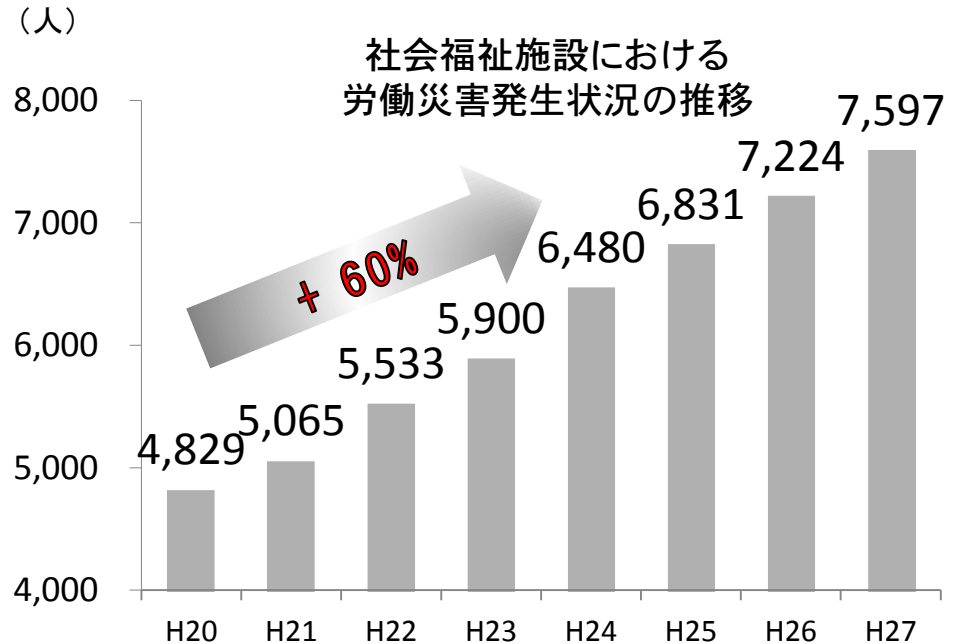
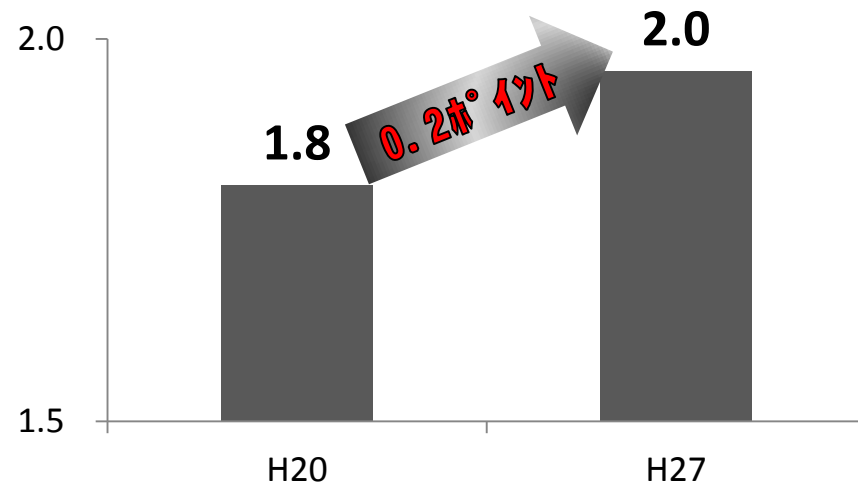


社会福祉施設における労働災害の発生状況

休業4日以上之死傷災害

- 労働災害は年々急増しており、
7年間で1.6倍となった。

社会福祉施設における
災害発生率(死傷年千人率)



災害発生率

- 災害発生件数が増加しただけでなく、
災害発生率(1,000人当たりの発生件数)も
7年前と比べ、**0.2ポイント増**となった。

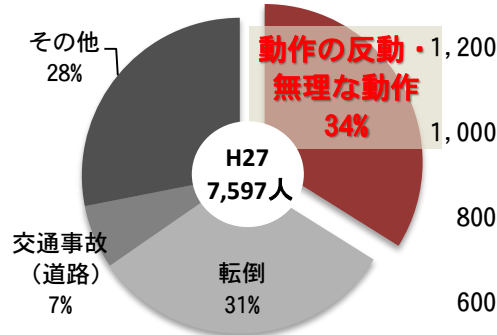
出典:労働災害件数は労働者死傷病報告より、
災害発生率は労働力調査より集計した値を使用

社会福祉施設における労働災害の発生状況

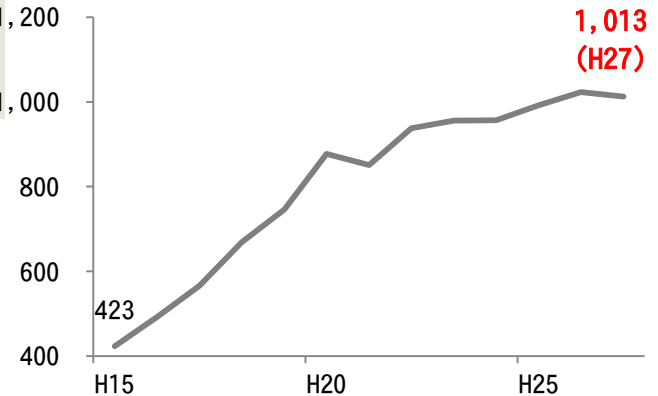
事故の型別死傷者数内訳

- 「**動作の反動・無理な動作**」が**34%**を占め、次いで「**転倒**」(**31%**)が多く、この二つで65%を占める。
- 腰痛発生件数は年々増加し、平成26年には**1,023件**となり、前年比**3%増**となった。

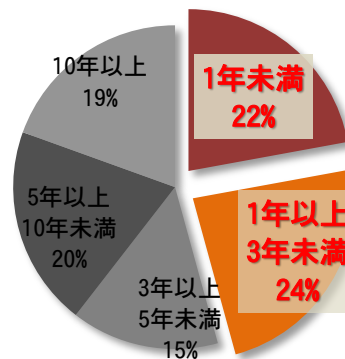
事故の型別 災害発生状況
(平成27年・社会福祉施設)



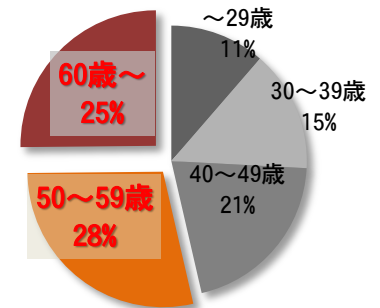
(人) 労働災害による腰痛の発生状況
(平成27年・社会福祉施設)



経験期間別
災害発生状況
(平成27年・
社会福祉施設)



年齢別
災害発生状況
(平成27年・
社会福祉施設)



経験年数/年齢別数別死傷者数内訳

- 経験年数 **3年未満**の被災者が、全体の**46%**を占める。
- **50歳以上**の死傷者数の全体の**過半数**

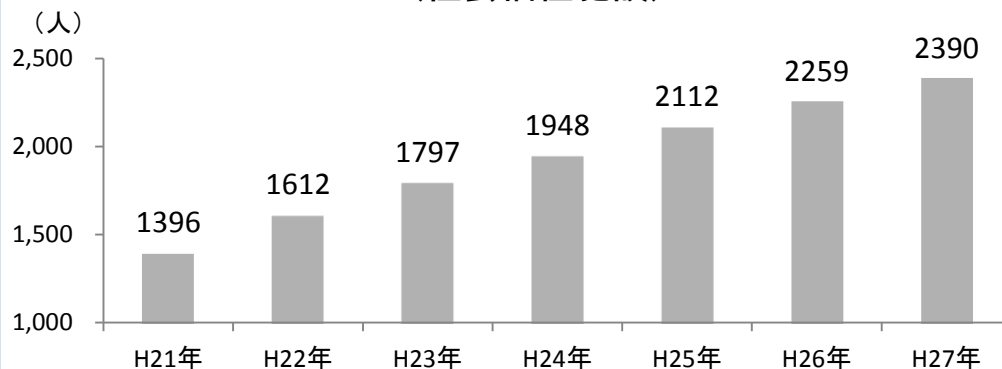
出典: 労働災害件数は労働者死傷病報告より、
腰痛の発生状況は業務上疾病調より、
災害発生率は労働力調査より集計した値を使用

社会福祉施設における転倒災害の発生状況

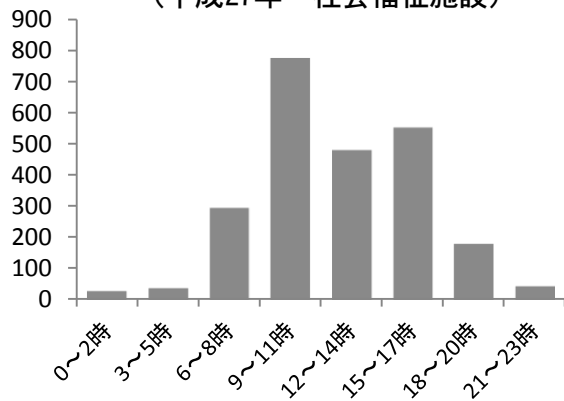
ポイント

- 社会福祉施設の労働災害は増加傾向。
平成27年は**7,597**件発生し、前年に比べ**5%**増加した。
- このうち、転倒災害は平成27年は**2,390**件で全体の**31%**を占め、前年同期に比べ**6%**増加。
- 社会福祉施設における転倒災害の特徴は
 - ・ **9～11時台**に多く発生。
 - ・ **50歳以上**の災害が**約7割**を占め、かつ年々増加傾向。
 - ・ 休業見込期間が**1月以上**が**約6割**。

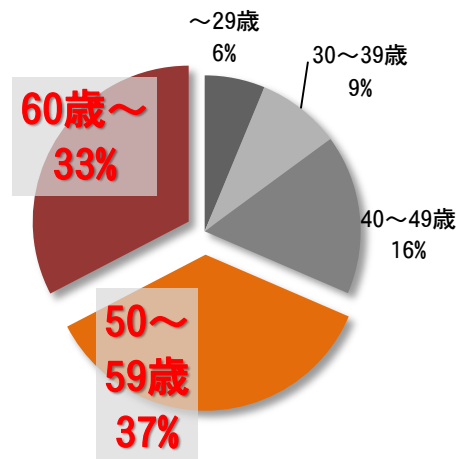
転倒災害発生状況の推移
(社会福祉施設)



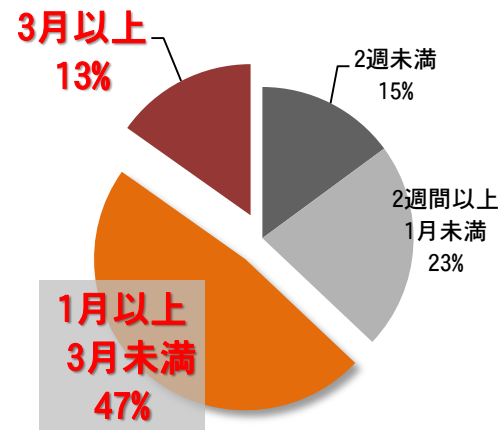
時間帯別 転倒災害発生状況
(平成27年・社会福祉施設)



年齢別 転倒災害発生状況
(平成27年・社会福祉施設)



休業見込期間別 転倒災害発生状況
(平成27年・社会福祉施設)



出典:労働者死傷病報告より集計した値を使用

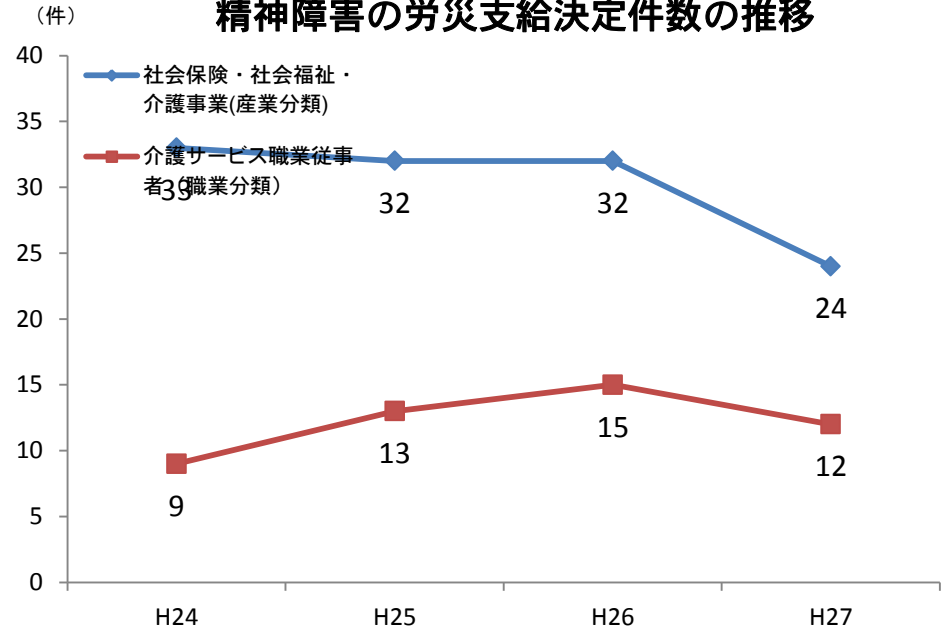
社会福祉・介護事業における精神障害の労災支給状況

ポイント

社会福祉・介護事業における精神障害の労災件数は増加しており、業種別にみても件数が多い。

メンタルヘルス対策に取り組むことは労働災害防止のみならず、人材確保のためにも重要。

社会福祉・介護事業における
精神障害の労災支給決定件数の推移



精神障害の労災支給決定件数の多い業種
(平成26年度・業種(中分類))

	業種(中分類)	件数
1	道路貨物運送業	36[8%]
2	社会保険・社会福祉・介護事業	24[5%]
3	医療業	23[5%]
	⋮	
	合計	472[100%]

精神障害の労災支給決定件数の多い職種
(平成26年度・職種(中分類))

	職種(中分類)	件数
1	一般事務従事者	61[13%]
	⋮	
11	介護サービス職業従事者	12[3%]
	⋮	
	合計	472[100%]